



女子サッカー部報告

編集
藤田夏寧・仲尾夢乃(2年生)毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
<http://toin.sakura.ne.jp/>

KEEP EVOLVING to MAKE LEGEND

2014年10月27日 NO.72

2014-2015 シーズンチームスローガン: 伝説を作るために進化し続ける

～平成26年度大阪高校総合体育大会(女子の部)～

大阪高校総体優勝 大阪3冠達成

決勝戦で大商学園を1-0で破る

平成26年度大阪高校総合体育大会(女子の部)は、8月24日からJ-GREEN堺で行われた。今年は予選トーナメントを勝ち抜いた上位4チームが決勝リーグに進み総当りリーグを行う方式で行われた。大阪桐蔭は、予選トーナメント2回戦で大阪教育C附属を10-0、続く3回戦で教大平野を31-0で破り決勝リーグに進んだ。決勝リーグは大阪桐蔭、大商学園、追手門学院、大阪学芸の4チームで争われた。大阪桐蔭は、追手門学院を2-0、大阪学芸を2-1で破り、最終戦大商学園との試合では接戦をものにし1-0で全勝勝利、新人戦、春季大会に続いて優勝を飾り、3冠を達成した。この大会で優勝・準優勝の大阪桐蔭、大商学園は全日本高等学校女子サッカー選手権大会出場をかけた10月26日から滋賀で行われる、関西高等学校女子サッカー選手権大会に出場する。

◇決勝リーグ最終戦(10月4日、J-green堺S8)35分ハーフ

大阪桐蔭 1-0(0-0)大商学園

【得失点】51分村松

大阪1位をかけた戦いの相手は大商学園。前半は、風の影響を受け何度かピンチを迎えたが、なんとか耐え切り無失点で折り返した。後半風上でやや有利になった大阪桐蔭はチャンスを多く作った。後半26分コーナーキックのこぼれ球を村松がミドルシュート、そのままゴールに吸い込まれた。後半20分大商学園のカウンターに飛び出したゴールキーパーの芝が味方守備者岩根と交錯、ペナルティエリア外で手にあたってボールは大阪桐蔭ゴールに向かっていったため「決定機の阻止」と判定されレッドカードが出された。しかし代わりに入った森田がピンチを救い、最後まで体を張って1点を守りきり、大阪桐蔭は2008年以来2度目の3冠を達成した。

◇予選トーナメント1回戦(8月31日、東住吉総合グラウンド)35分ハーフ(カッコは前半のスコア)

大阪桐蔭 10-0(2-0)大阪教育C附属

【得失点】5分岩根、31分永野(PK)、43分村松、47、48分呉屋、55分足立、56分京井、64分足立、67、69分京井

◇予選トーナメント2回戦(9月7日、追手門学院グラウンド)30分ハーフ

大阪桐蔭 31-0(16-0)教育大平野

【得失点】1、2分呉屋、4分足立、5、7分持田、10、12分呉屋、13、15分持田、16分中梨華、26、28分持田、32分村松、34分呉屋、35分山下、35+1分呉屋、36分大嶋、36分岩根、38分京井、41分大嶋、42分足立、46分京井、48、50、58分大嶋、59分京井、61分大熊、63分大嶋、65分村松、68分大熊、69分京井

◇決勝リーグ第1戦(9月13日、J-Green

堺S8)35分ハーフ

大阪桐蔭 2-0(0-0)追手門学院

【得失点】44、50分呉屋

◇決勝リーグ第2戦(9月23日、J-green堺S11)35分ハーフ

大阪桐蔭 2-1(2-0)大阪学芸

【得失点】3分山下、8分持田、48分失点

皇后杯関西予選2回戦敗退

9月15日より大阪第3代表として出場した第43回関西女子サッカー選手権大会兼第36回皇后杯全日本女子サッカー選手権大会関西大会が行われた。大阪桐蔭は1回戦で昨年関西大学リーグ覇者武庫川女子大学を1回戦で破ったが、インターハイ優勝校の日ノ本学園に敗れ2回戦敗退で幕を閉じた。

◇1回戦(9月15日、神戸レディースフットボールセンター)40分ハーフ

大阪桐蔭 2-1(1-0)武庫川女子(兵庫)

【得失点】1分山下、69分呉屋、79分失点

初戦の相手は、武庫川女子大学。試合開始早々わずか18秒で山下がゴールを決め先制した。攻撃は前線からプレスをかけ自由を与えずラインを高く取って攻撃的に行った。終始主導権を握ることができた。後半29分に呉屋のゴールでリードを広げた。試合終了間際失点するもリードを守りきり勝利した。

武庫川女子大学は関西学生女子リーグでも上位を行く強豪。ここに勝利したことは大きな自信となった。

◇2回戦(9月21日、神戸レディースフットボールセンター)40分ハーフ

大阪桐蔭 1-4(0-0)日ノ本学園(兵庫)

【得失点】54、64、67分失点、82分呉屋、83

分失点

2日後に大阪高校総体決勝リーグ第2戦の大阪学芸との試合を控えた難しい試合となった。日ノ本には失点しないように重心を下げ慎重な試合運びとなった。前半、何度かピンチを迎えたが体を張って守り0-0で前半を終えた。しかし後半、14分一瞬の隙をつかれたトリックプレーのコーナーキックで失点すると立て続けに失点。呉屋のシュートで1点を返したものの、その直後またもや失点し立て直すことができなかった。

皇后杯は全国大会出場が目標だったがインターハイ優勝に続き達成できなかった。

芸術鑑賞会はOVO(オーヴォ)

9月3日に2・3年生は、中之島ビックトップで「OVO(オーヴォ)」を学校行事で鑑賞した。目の前で行われる大迫力の演技にそれぞれ感じるものがあつた。

全国大会出場決定

第23回関西高等学校女子サッカー選手権大会兼第23回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関西大会は10月26日滋賀県野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイクで1回戦が行われ大阪桐蔭高校は兵庫第2代表の神戸第一高校と対戦し5-0で破りベスト4進出を決め全国大会出場の切符をつかんだ。昨年の全国覇者日ノ本学園、この夏のインターハイ準優勝の京都精華、昨年インターハイ第3位の大商学園も1回戦を突破しベスト4に進出するとともに、全国大会出場を決めた。なお、神戸第一も全国大会が兵庫県で行われるため地元開催枠として全国出場を決めた。試合の様子は11月3日午前2時から毎日放送で放映される。

◇1回戦(10月26日、野洲川歴史公園サッカー場ビッグレイク)35分ハーフ

大阪桐蔭 5-0(3-0)神戸第一(兵庫)

【得失点】7分村松、23、29分持田、39分呉屋、50分持田

村松の先制点、持田のハットトリックなどで終始試合をリード、相手にシュートを1本も打たせずに完勝した。